

保護者啓発講演会報告

平成25年度インターネットの危険性から子供を守る総合推進事業の一環として、保護者啓発のための講演会を県内8会場で実施しました。ついては、各会場の講演内容と参加保護者からの感想を以下のとおり報告します。

(1) 第1回 平成25年7月13日(土)

会場 県立三郷高等学校

参加者 保護者30人、職員40人

内容

LINE等のソーシャルネットワークについての理解のために、実態が紹介された。また、トラブルの対処法の説明があり、保護者の方々に対しては、たとえわからないツールだとしても、子供に関わってほしいと呼びかけた。

参加者の感想

- ・子供はよくラインをやっているので心配でした。何に気をつけるべきかがわかりました。
- ・家で使い方や内容等について、話し合いたいと思いました。
- ・SNSは楽しんだり便利のうちは良いですが、今日の注意点について子供たちとじっくり話し合おうと思います。とてもわかりやすいお話でした。
- ・知っていれば防げるトラブルがあることがわかったので、今日の研修会は勉強になりました。もっと早く知っていればよかったと思いました。
- ・堅苦しくなく、SNSについての簡単でわかりやすい説明でしたので、勉強になりました。
- ・便利な反面、各自気をつけなければならないことがたくさんあることがわかりました。



(2) 第2回 平成25年7月16日(火)

会場 県立春日部東高等学校

参加者 保護者20人、職員55人、生徒1,080人

内容

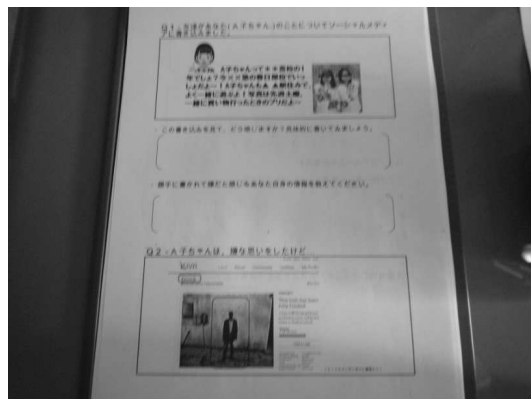
インターネットを使用するにあたり、危険性についてワークシートを利用したり、映像を利用してわかりやすく講演していただいた。

SNSについても、時間を割いて説明していただき、携帯電話の持ち込みをさせて

いない学校の現状を理解していただいたうえでの講演内容であった。

参加者の感想

- ・ 何気ない会話と同じ言葉をブログ上で使ってしまうと、他人の個人情報を勝手に載せてしまうことになるかもしれないことがわかった。
- ・ 将来お金のやり取り（募金など）をするときは、慎重に行わなければならないと思いました。
- ・ 子供たちよりも、もっとデジタル機器等に疎い保護者の方が今日のような講演を聞く機会がないと、これからのインターネット環境の変化についていけず、子供たちに起こる危険を防ぐことはできないのではないかと感じた。



(3) 第3回 平成25年7月20日(土)

会 場 県立宮代高等学校

参加者 保護者30人、職員6人

内 容

LINEの説明と、その危険性について

参加者の感想

- ・ 丁寧な説明で分かりやすかった。
- ・ 大変興味深かったが、規制するルール作りは難しいと思った。
- ・ 親が利用しないで、子供のやっていることは理解できない。親が体験する機会を増やすべき。
- ・ 家庭内のルールを守らせるのが難しい。



(4) 第4回 平成25年7月20日(土)

会 場 県立久喜工業高等学校

参加者 保護者12人、職員65人、生徒639人

内 容

「ソーシャルメディア・コミュニケーションで大切なこと・必要な力」というタイトルで、参考資料を使用して、ソーシャルメディアにおけるコミュニケーションを行う場合のエチケット・ルール・マナー等について具体的な事例を踏まえて講演をしていただいた。

参加者の感想

- ・ 何気なく使用していたソーシャルメディアによって、他人を傷つけたりいじめにつながってしまう恐れがあることを学んだ。自分もラインを使うときは相手の気持ちを大切に内容になるように気をつけたい。
- ・ ソーシャルメディアはとても便利なものだが、使用方法を誤ると他人を傷つけることもある。今日は、ソーシャルメディアのルールやマナーについて学ぶことができてとてもよかった。今後も、使用方法を誤らないように気をつけたい。



(5) 第5回 平成25年11月1日(金)

会 場 県立ふじみ野高等学校

参加者 保護者54人、職員50人、生徒642人

内 容

以下の四つの教訓について事例を挙げて説明

- ① 個人情報を書き込まない
- ② 送信ボタンを押す前にもう一度確認
- ③ ネット上で匿名はほとんど不可能
- ④ 誹謗中傷はしない

その他、家庭でのルール作りの大切さ

参加者の感想

- ・ 事例が身近で分かりやすい説明だった。
- ・ ネット上に書き込むと瞬く間に全世界に広がるのが分かった。
- ・ 軽い気持ちで書き込んだ個人情報が犯罪に巻き込まれる危険性を帯びているのが分かった。
- ・ 家庭でのルール作りが大切だと思った。

(6) 第6回 平成25年12月3日(火)

会場 県立吉川美南高等学校

参加者 保護者20人、職員20人、後援会役員3人

内容

スマートフォン世代のコミュニケーションの実態について

参加者の感想

- ・子供とスマートフォンについて話す良いきっかけになった。
- ・iPhone以外にも画面を記録できることを知ることができた。
- ・ソーシャルメディアポリシーの存在を知ることができた。
- ・子供がスマホを持つことのリスクを考えるきっかけになった。



(7) 第7回 平成26年1月17日(金)

会場 県立日高高等学校

参加者 保護者15人、職員5人

内容

子供の携帯とソーシャルメディア利用について

参加者の感想

- ・日頃から携帯の使用については話し合っており、別サイトなど利用した時には必ず話してくれます。ただ、親自身が全く使用方法などわからないことがあるので改めて話し合いたいと思いました。
- ・自分の子供だけは大丈夫と思わず機会があるたびに話し合う必要があると思いました。
- ・使い方を一歩間違えると怖いことになるのだということをお子へにも話すことが必要だと感じました。
- ・今後もますます必要とされる分野だと思われれます。子供たちがソーシャルメディアと関わりあいながらも大人へと成長できるようこれからもぜひ頑張ってください。



(8) 第8回 平成26年1月17日(金)

会 場 県立大宮工業高等学校

参加者 保護者34人、職員10人

内 容

携帯電話について

ソーシャルメディア利用について

ご家庭での携帯電話ルール作り

参加者の感想

- ・知らない間に情報が知られてしまう事が怖いです。
- ・世代によってコミュニケーションの取り方が違うことを教わり高校生の年頃は、危険な世代だと改めて感じた。
- ・子供と同じアプリやスマートフォンを持つことにより話ができる事や危険を教えることができる事を知った。
- ・自分の発信した情報には、責任を持つ事や一度ツイッターやLINEにアップしたものは消せないと言うことを知り怖くなった。

